

平成12年 6月29日
気 象 庁

三宅島の火山活動に関する火山噴火予知連絡会（伊豆部会）コメント

三宅島では、傾斜計及びGPS観測によれば、地殻変動は昨日までの傾向が続いていますが、その変化はさらに鈍化しています。

このことから、西方海域におけるマグマの供給と岩脈の広大は、停止しつつあると考えられます。

以上のように、火山活動は低下しつつあり、今後、陸域及び海面に影響を及ぼす噴火の可能性はほとんどなくなつたと考えられます。

なお、西方海域での地震活動はしばらく活発に続くと考えられることから、地震活動に対する注意が必要です。

平成12年 7月 8日
気 象 庁

三宅島の火山活動に関する火山噴火予知連絡会（伊豆部会）コメント

三宅島では、本日（8日）18時41分頃山頂で噴火がありました（時刻は微気圧計による）。目視観測によれば、18時42分には噴煙が上がっており、43分に高さ800mに達しましたが、18時50分頃には殆ど見えなくなりました。島の東部に少量の降灰が有りました。また、8時41分に島内を震源とするM5程度の低周波地震がありました。

7月4日頃から山頂部の地下数kmで地震が増加し、本日はさらに増加しました。本日昼前から微動が次第に大きくなりましたが、噴火終了頃の19時前には小さくなりました。6月末から島が収縮する方向（山頂沈降方向）の地殻変動が続いていましたが、本日は同じ傾向で加速しました。

噴火後、地震は減少しましたが、地殻変動は同じ傾向で続いています。

山頂部の地震と地殻変動が継続していることから、今後も山頂で噴火が発生する可能性があります。このため、現段階では、山頂付近では注意が必要ですが、山麓へ影響を及ぼすことはないと考えられます。

なお、山腹噴火を示唆するデータはありません。